

農業者とのコラボで「みどり戦略PR紙芝居」を作成

農業者と連携し、子ども向けの「みどりの食料システム戦略PR紙芝居」を作成。ライブイベントでの読み語り等によりPRを実施。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

「みどりの食料システム戦略」の周知活動において、農業者やJAから、消費者の理解の必要性が指摘された。しかし、拠点では消費者との接点が少なく、既存資料では分かりやすく伝えることが難しかったため、PRが進んでいなかった。

○ 取組の内容

消費者向けに食料システムの一員としての役割を分かりやすく伝える内容の紙芝居を作成。

農業者の視点を取り入れた内容にするため、北見市で環境に配慮した農業にも取り組む遠藤夫妻に作成協力を依頼。双方でアイデアを持ち寄り、キャラクターと親子を登場人物に、問いかけで進むストーリーとし、子どもや農業をあまり知らない消費者にも興味を持ってもらえるよう工夫。

○ 効果・成果、今後の方向性

完成した紙芝居は農業者と拠点がお互いに活用。遠藤氏は自身のライブイベントで読み語りを3回実施し、参加者からは「本当は大切だけど見逃しがちなことを子どもたちに分かりやすく描かれたかわいらしい作品」との感想があった。また、拠点は紙芝居に音声と字幕を追加した動画を作成。今後は拠点における様々な機会での活用を検討していきたい。



完成した紙芝居(一部抜粋)



遠藤氏による紙芝居の読み読みの様子



作成協力:遠藤正人さん 幸枝さん(遠藤農場)
北見市の畑作農家。農業や化学肥料を減らしたじゃがいもの栽培も行う。正人さんはプロギタリスト、幸枝さんは農業に関連した紙芝居を作成し披露している。

